

2019年11月21日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
産業振興センター

1966年から続く化学およびプロセス産業プラントの総合展示会

「プラントショー」が2020年7月に大阪初開催

2020年7月29日(水)～31日(金)の3日間、於：インテックス大阪

一般社団法人日本能率協会(JMA、会長：中村 正己)と公益社団法人化学工学会(会長：阿尻 雅文 東北大学 材料科学高等研究所 教授)は、2020年7月29日(水)～31日(金)の3日間、インテックス大阪(大阪市住之江区)で、「プラントショー OSAKA 2020」を開催します。本展は、1966年から続く化学およびプロセス産業プラントの総合展示会である「プラントショー」を従来首都圏で開催していたものを、2020年は大阪で初開催します。主催は公益社団法人化学工学会と一般社団法人日本能率協会の共催となります。

従来、関西地域における展示会は、特定業界に特化した専門展示会が開催されてきました。しかし、工場プラントの設備機器から環境エネルギー対策、エンジニアリングまで幅広く扱う展示会は無く、地元産業界から総合展示会の開催が待望されていました。プラントショー OSAKA 2020には、化学装置・機器・各種システムから材料素材開発、環境・エネルギー、水処理、防爆・防災など、工場・プラントの課題解決のための製品・技術・サービスが幅広く出展される予定です。販路拡大やオープンイノベーションによる技術開発促進、そして産・官・学の交流連携により、化学関連産業および地域産業の振興に寄与することを開催目的としています。

現在、出展者を募集しています。申込み締切は、2020年3月13日(金)まで。INCHEM TOKYO 2019出展者には、継続申込割引料金が適用されます。お申込みは本展ホームページ「WEB出展申し込み」
<https://www.jma.or.jp/plantosaka/> で受付中。

<プラントショー OSAKA 2020 開催概要>

構成展示会：第33回プラントショー

第10回機能性材料展(イノベーションプロダクト)

第10回産業向け水処理対策展(水イノベーション)

第13回製造業向け環境・エネルギー対策展(ECO-Manufacture)

第2回防爆・防災リスク対策展

開催期間：2020年7月29日(水)～31日(金) 10:00～17:00

会場：インテックス大阪 2号館(予定)

開催規模：120社/250ブース

来場対象：化学などプロセス産業の工場・プラントの操業・設備管理・環境安全・設計・エンジニアリングに携わる方 他

来場予定者数：20,000名(同時開催展含む)

入場登録料：3,000円(税込)(ただし、招待状参加者・事前登録者は無料)

同時開催展：メンテナンス・レジリエンス OSAKA 2020、第6回国際ドローン展、
気象・気候対策ビジネス WEEK2020(夏) -大阪- 他

製造業・建設業の生産性向上、持続可能な社会資本整備、レジリエンス向上に資する専門展示会
「メンテナンス・レジリエンス OSAKA 2020」(総称) 2020年7月に大阪初開催
2020年7月29日(水)～31日(金)の3日間、於：インテックス大阪

一般社団法人日本能率協会(JMA、会長：中村 正己)は、2020年7月29日(水)～31日(金)の3日間、インテックス大阪(大阪市住之江区)で、「メンテナンス・レジリエンス OSAKA 2020」(後援：公益社団法人関西経済連合会、公益財団法人大阪観光局、公益財団法人大阪産業局、特別開催協力：一般財団法人大阪国際経済振興センター(インテックス大阪)、協力：大阪府、一般財団関西観光本部、大阪商工会議所(順不同))を開催します。

***メンテナンスレジリエンス OSAKA2020とは…**

製造業、建設業の生産性向上、持続可能な社会資本整備、レジリエンス向上を目指し、8つの専門展示会を同時開催。相互の関連性を最大限に引き出し、業界の枠を超えた技術、情報交流を促進する場を提供します。

<製造業>大阪を中心に関西地域は、大手、中堅、中小企業者まで多くの製造業事業者が集中している活気ある地域です。特に化学、製薬、食品のプラント産業、その基盤となる化学機械、施業機械、管工機材メーカー、更にはそのエンジニアリングとメンテナンス産業は同地域に集約されています。こうした背景を見据え、ものづくり、プラント産業の技術優位性、生産性向上に寄与することを目的に本展を開催します。

メンテナンス・レジリエンス OSAKA 2020 構成展示会

●プラントメンテナンスショー ●特別企画 工作機械の予知保全・メンテナンス特集

<土木・建設業>インフラ構造物の維持、管理は、近年の異常気象による大型化する台風などの自然災害、懸念される南海トラフ地震への対策、高度経済成長期を中心に建設された構造物の老朽化対策など市民の社会活動、経済活動を支える喫緊の課題です。2025年日本国際博覧会(略称「大阪・関西万博」)の開催、IRの誘致等を控え、人口と経済活動が集中する大阪を中心とした関西地域では、建設構造物の新規建設はもちろん、その維持管理、更新の必要性が高まっています。こうした背景を見据え、持続可能な社会資本整備に寄与することを目的に本展を開催します。

メンテナンス・レジリエンス OSAKA 2020 構成展示会

●インフラ検査・維持管理展 ●建設資材展 ●事前防災・減災対策推進展 ●労働安全衛生展
●i-Construction 推進展 ●無電柱化推進展 ●再資源化・産業廃棄物処理・解体技術展
●土木・建設業向け A I / I o T / 5 G / システム / ツール特集

なお現在、出展者を募集しています。申込み締切は、2020年2月14日(金)まで。継続出展申込者割引料金あり。お申し込みは、本展ホームページ「WEB出展申込み」
<https://www.jma.or.jp/mente/etc/index.html> で受付中。

<メンテナンス・レジリエンス OSAKA 2020 開催概要>

開催期間：2020年7月29日(水)～31日(金) 10:00～17:00

会場：インテックス大阪 3～5号館(予定)

開催規模：350社/600ブース

来場対象：製造事業者、工場、プラント操業、設備管理、官公庁、地方自治体、鉄道、高速道路、電力・ガス 他多数

来場予定者数：20,000名(同時開催展含む)

入場登録料：3,000円(税込)(ただし、招待状参加者・事前登録者は無料)

同時開催：プラントショー-OSAKA 2020、第6回国際ドローン展、気象・気候対策ビジネス WEEK2020(夏)-大阪- 他

【本リリースに関するお問い合わせ】

一般社団法人日本能率協会 広報室 担当：川村 E-mail:jmapr@jma.or.jp

〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22

TEL：03-3434-8620/090-6038-4599